

群馬県獣医師会では、 家庭犬の SFTS ウイルス浸潤調査 を行っています。

みなさんの飼い犬が SFTS ウイルス（抗原）を保有しているか、今まで SFTS ウイルスに感染したことがあるか（抗体）を検査し、群馬県内のペットがどのくらい SFTS ウイルスに感染しているのかを調査することが目的です。

* 検査実施機関：群馬県衛生環境研究所

参考資料1) マダニ媒介SFTSとは

重症熱性血小板減少症候群 (Sever fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)

これまでに、中国・日本・韓国でSFTSの患者が報告されています。中国ではフタトゲチマダニとオウシマダニからウイルスが見つかっています。



ウイルスの潜伏期間は（マダニに咬まれてから）6日～2週間とされています。

2016年は、西日本を中心とした21府県から届出されています。()内は発症数



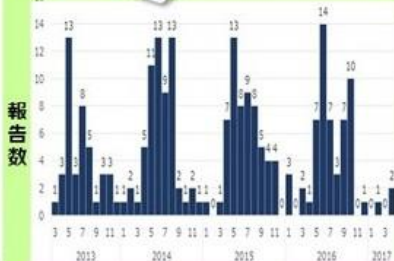
SFTS患者報告基本情報

合計	232名
性別	
男	111
女	121
年齢	
中央値	73歳
～20代	2
30代	4
40代	4
50代	15
60代	66
70代	65
80代	70
90代	36

(2017年4月26日 現在)

2013年1月1日以降に報告された患者（合計232名）です。

SFTS患者は5～8月に多く発症しています。



患者発症月

資料は、国立感染症研究所ホームページ：
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/sa/sfts.html>を引用

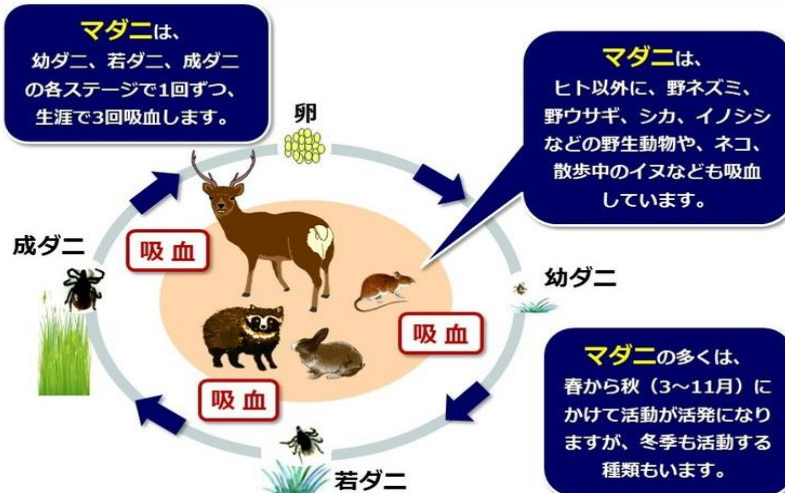


2019年3月までに西日本を中心とした23府県から合計404名（うち死亡65名）の患者が報告されています。

* 感染症発生動向調査 2019.4.24 現在



参考資料2) マダニの生活環



重症熱性血小板減少症候群 (Sever fever with thrombocytopenia syndrome : SFTS)

資料：国立感染症研究所昆虫医学部作成パンフレット「マダニ対策、今できること」から抜粋 写真提供：群馬県動物愛護センター

SFTS ウイルスによる感染症で、マダニに咬まれることにより感染します。人が発症した場合の初期症状は発熱、全身倦怠感、消化器症状で、重症化すると死亡することもあります。

最近の研究では、SFTS ウイルスに感染し、発症している野生動物やネコ・イヌの血液からも SFTS ウイルスが検出されているので、ウイルス感染している動物の血液や体液などに直接ふれた場合も SFTS に感染する可能性があります。